

F☆☆☆☆ 弱溶剤形二液オールインワンシーラー

マイティー万能エポシーラー

JASS 18 M-201 適合品

白

クリアー



環境に
やさしい

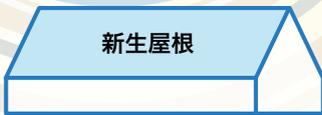
基材
表層強化

ノンフティング

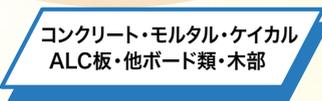
弱溶剤
二液形

吸い込み
防止

安心の
付着力



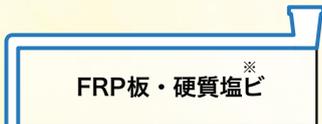
従来
専用シーラー



従来
エマルジョンシーラー
カチオンシーラー



従来
エポキシプライマー



従来
専用プライマー

あらゆる素材に

all 1

これからは
マイティー
万能エポシーラー
これ 1本

色相・容量

白

15kgセット
主剤 13.5kg
硬化剤 1.5kg

クリアー

15kgセット
主剤 14kg
硬化剤 1kg

※溶融亜鉛めっきは除く。

※新品の軟質塩ビ(塩ビ鋼板など)には塗装できません。

素材適応表

色相	無機系素材							サイディングボード				鉄・非鉄金属・その他							屋根		
	コンクリート・モルタル	けい酸カルシウム板①	プラスターボード	ALC板②	押出成形板	GRC・PC板	磁器タイル・ホーロー	通常塗装板	ふっ素塗装板	無機系コーティング	光触媒コーティング③	一般鉄部	ガルバリウム鋼板	アルミニウム	溶融亜鉛めっき鋼板(ドブ付け)④	電気亜鉛めっき鋼板	硬質塩ビ樹脂	FRP⑤	木部⑥	新生屋根	鋼板(カラータタン・折板)⑦
白	○	—	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—	○	○	×	○	○	○	○	○	○
クリアー	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	△	—	—	—	×	—	○	○	○	○	—

○: 最適 △: 条件付きで塗装可能
×: 不適 —: 一般的には塗装しない

①けい酸カルシウム板へ塗装する場合、1回塗装し、研磨を行った後、2回目の塗装を行うと仕上がりが向上します。②ALC板は、弾性フィラー・軸元5号Sなど、下地調整材で巣穴を埋めた後、塗装を行って下さい。③光触媒コーティングへのクリアーは塗装可能ですが、紫外線透過の面から、白を推奨します。④溶融亜鉛めっき鋼板(ドブ付け)につきましては、弱溶剤系変性エポキシ樹脂プライマー(エポテイ)をご使用下さい。⑤FRPは硬質材のみです。⑥新設木部は、ヤニを削り取り、電気ゴテ焼きを行った後、溶剤で拭き取ってから塗装を行って下さい。⑦新品のカラータタンには塗装しないで下さい。

大日本塗料株式会社

塗料性状

項目		内容		
色相		白	クリアー	
容姿		二液性	二液性	
荷姿		15kgセット	15kgセット	
		主剤 13.5kg	主剤 14kg	
		硬化剤 1.5kg	硬化剤 1kg	
密度 (23°C)	塗料	1.29 ± 0.05	0.95 ± 0.05	
	揮発分	0.85	0.85	
粘度 (23°C)		75 ~ 100KU	10 ~ 20秒 フォードカップ#4	
加熱残分		60 ~ 70%	35 ~ 40%	
標準膜厚		30μm/回	—*	
乾燥時間	温度	5°C	20°C	30°C
	指触	3時間	1時間	30分
	半硬化	24時間	8時間	6時間
引火点		SDS参照		
発火点		SDS参照		
爆発限界 (下限~上限)		SDS参照		

注) 上記、塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動があります。
※ 吸い込みが著しい素材の場合は、2回塗装して下さい。

塗装基準

項目		内容			
下地処理		素材表面の油分・汚れ・埃などを除去し、乾燥した清浄な面とする。pH10以下、含水率10%以下			
調合法 (重量比)		白	クリアー		
		主剤90部、硬化剤10部	主剤14部、硬化剤1部		
可使用時間		8時間/20°C	8時間/20°C		
希釈剤		塗料用シンナー 又は 塗料用シンナーA			
塗装法	刷毛・ローラー	希釈率	5 ~ 10%	30 ~ 50%*2	
		標準使用量	0.10kg/m ² /回	0.10kg/m ² /回	
		標準膜厚	30μm/回	—	
	エアレス*1	希釈率	10 ~ 20%	30 ~ 50%	
		標準使用量	0.12kg/m ² /回	0.12kg/m ² /回	
		標準膜厚	30μm/回	—	
塗装間隔	ウエット管理膜厚	75μm/回			
	温度	5°C	20°C	30°C	
	最小(屋根)*3	48時間	16時間	12時間	
	最小(壁面)*3	12時間	4時間	3時間	
最大	14日 7日 7日				

注) 標準使用量は、実測値に基づき算出しています。
また、被塗物の形状などにより標準使用量は変動します。
※1 エアスプレーの場合は、エアレス希釈率より5 ~ 10%増やして下さい。
※2 指定数量の希釈率で使用するには、別容器に取り分けた後に希釈を行って下さい。
※3 屋根面での歩行可能な最小時間、壁面での塗り重ね最小時間。

標準塗装仕様

工程	商品名	塗装方法	希釈率 (%) (重量比)	塗装回数	標準使用量 (kg / m ² / 回)	塗装間隔 (20°C)
1 素地ごしらえ	無機	ワイヤブラシやサンドペーパーなどを用いて、汚れや付着物を除去する。				
	金属	サンドペーパーや電動工具などを用いて、目粗し及び汚れや付着物を除去する。				
1 下地調整	無機	ワイヤブラシやサンドペーパーなどを用いて、汚れや付着物を除去する。活膜がある場合は目粗しを行う。				
	金属	サンドペーパーや電動工具などを用いて、目粗し及び汚れや付着物を除去し、油脂分はシンナーを用いて除去する。劣化塗膜・脆弱な塗膜は除去する。				
2 下塗り	マイティー万能エポシーラー 白 (又は) マイティー万能エポシーラー クリアー	刷毛・ローラー	5 ~ 10	1 ~ 2	0.10	4時間以上*2
		エアレス	10 ~ 20		0.12	7日以内
		刷毛・ローラー	30 ~ 50	1 ~ 2*1	0.10	4時間以上*2
		エアレス	30 ~ 50		0.12	7日以内
3 上塗り	各種上塗り	各種上塗りのカタログをご参照下さい。				

注1) コンクリート・モルタルは、含水率10%以下、pH10以下で実施下さい。
注2) 溶融亜鉛めっきは、弱溶剤形エポキシプライマー (エポティ) をご使用下さい。
注3) 木部のヤニは削り取り、電気ゴテ焼きを実施して、溶剤で拭き取して下さい。
注4) 屋根の場合は、縁切りを実施して下さい。
注5) その他の素材の場合は、弊社にお問い合わせ下さい。
注6) 新設カラートタンには使用できません。
注7) FRP板・硬質塩ビ素材は、サンドペーパーなどを用いて、目粗しおよび溶剤ウエス拭きを行って下さい。
注8) ALC板の塗装は、単穴を下地調整塗材で埋めてから塗装をして下さい。直接、塗装するのは避けて下さい。

※1 吸い込みが著しい素材の場合は、下塗りを2回塗装して下さい。
※2 塗装間隔は、屋根面では歩行可能な最小時間として16時間 (20°C)、足跡が付きやすい下地では十分な塗装間隔をとって下さい。

■施工上の注意

- 十分攪拌し、均一な塗料状態にしてから塗装して下さい。
- 希釈は、必ず指定された希釈剤を使用して下さい。
- 結露などで塗装面が湿っている場合は、塗装しないで下さい。
- 乾燥過程で降雨や結露などの水分の影響を受けると白化することがありますので、この場合は軽く表面を研磨するなどの処理をして下さい。
- 塗装環境が気温5°C以下、湿度85%以上の場合は、塗装しないで下さい。
- コンクリート・モルタルの養生は、十分に行って下さい (pH10以下、含水率10%以下)。
- 油・ワックスなどが付着している場合は、完全に除去してから塗装して下さい。
- 被塗面の油・湿気・じんあい・水分・その他の有害な付着物は、完全に除去して下さい。
- 塗装間隔が長くなると密着不良になりますので、規定以上経過した場合は、塗膜表面をサンドペーパーなどで研磨し、さらにウエス拭きしてから塗装して下さい。
- 吸い込み止めとして塗装する場合は、希釈率を30 ~ 50%を目安に2回塗りして下さい。
- 旧塗膜に弱溶剤一液形塗料が使用されている場合、リフティングを生じる可能性があります。
- 軟質のけい酸カルシウム板には、「クリアー」を使用して下さい。
- 溶融亜鉛めっき面には塗装しないで下さい。
- 吸い込みの著しい素材の場合、一回塗りでは付着性が不十分な場合がありますので、2 ~ 3回塗装して下さい。
- 木部は一旦、塗装・乾燥後にケバ立ちを研磨除去し、再度塗装して下さい。
- 上塗塗料にフタル酸樹脂系塗料 (タイコーペイント、ハイメルなど) を塗装すると、乾燥不良となるため塗装しないで下さい。

- 子供の手の届かないところに保管して下さい。
 - 捨てる時は、産業廃棄物として処分して下さい。
 - 本来の用途以外に使用しないで下さい。
 - 容器は垂直に持ち上げて下さい。斜めに持ち上げると取手が外れ、落下事故の危険があります。
- 緊急時の処置
- 火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器又は粉末消火器を用いて下さい。
 - 目に入った時には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
 - 誤って飲み込んだ時には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
 - 皮膚に付着した時には、多量の水で洗い落とし、痛みや皮ふに変化等がある場合には、医師の診察を受けて下さい。
 - 蒸気、ガス等を吸込んで気分が悪くなった時には、安静にし、医師の診察を受けて下さい。
 - 容器からこぼれた時には、布で拭き取り、その布を水の入った容器に保管して下さい。

※本チラシは、製品を適正にご使用頂くための代表値を記載したものです。
本チラシに記載以外の条件で使用される場合は、事前に弊社にお問い合わせ下さい。
※本製品の内容は予告なく変更することがあります。 ※本チラシに記載の内容について、無断転載・複製を禁じます。

関連法規

危険物表示	白	主剤：指定可燃物、硬化剤：第4類第2石油類
	クリアー	主剤・硬化剤：第4類第2石油類
有機溶剤区分	主剤・硬化剤：第3種有機溶剤含有物	
有害物質表示	SDS参照	
劇物表示	—	
エポキシ樹脂硬化剤表示	主 剤：エポキシ樹脂 硬化剤：ポリアミドアミン	

■使用上の注意

引火性の液体で、危険有害性情報のある物質を含有していますので、取扱いには下記の注意事項を守って下さい。
※詳細な内容は、安全データシート (SDS) をご参照下さい。

- 取扱い上の注意
- 火気のない場所排気装置を設けたところで使用して下さい。
 - 塗装中、乾燥中は換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
 - 取扱い中は、皮ふにふれないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用して下さい。
有機ガス用防毒マスク又は送気マスク、頭巾、保護のわね、長袖の作業衣、入り巻きタオル、保護手袋等。
 - 取扱い後は、手洗い及びうがいを行って下さい。
 - 塗料の付いたウエスや塗料カス、スプレーダストは廃棄するまで水につけておいて下さい。
 - よくフタをし、40°C以下の一定の場所で貯蔵して下さい。

DNT 大日本塗料株式会社

- 大阪営業所 ☎06-6266-3116 ☎542-0081 大阪市中央区南船場1-18-11 (SRビル長堀)
- 東京営業所 ☎03-5710-4501 ☎144-0052 東京都大田区蒲田5-13-23 (TOKYU REIT 蒲田ビル)
- 札幌営業所 ☎011-822-1661 ☎003-0012 札幌市白石区中央二条1-5-1
- 仙台営業所 ☎022-288-8866 ☎984-0011 仙台市若林区六丁の目西町8-1 (齋喜センタービル)
- 名古屋営業所 ☎052-332-1701 ☎460-0022 名古屋市中区金山1-12-14 (金山総合ビル)
- 広島営業所 ☎082-286-2811 ☎732-0802 広島市南区大州3-4-1
- 福岡営業所 ☎092-938-8222 ☎811-2317 福岡県糟屋郡粕屋町長者原東3-10-5

塗料相談室 フリーコール 0120-98-1716 <https://www.dnt.co.jp/>